



# 日曜大工講座

## 工夫をこらした作品に満足

今回の日曜大工講座は、昨年10月18日・25日並びに11月8日・22日の4日間、大阪女子国際専門学校で行われた。先の二日間は初級編、後の二日間は中級編という構成で、参加者は20名弱であった。

初級編の初日は「物づくりの楽しみ」並びに「道具の種類と使い方」の講義で始まり、続いて実技に入った。製作はティッシュボックスまたはキッチンタオルホルダー作りであった。材料はあらかじめ部材に加工されていたが、皆それぞれに工夫をこらし、一所懸命取り組んでいた。二日目は初日の続きで、作品の完成をめざし、なんとか完成させることができ、皆満足そうな顔をしていた。



塗装の講師ペリー氏

であったが、初級編に比べて、寸法測定、記入(墨付け)作業が必要になり、より一層高度な技術が必要とされるものであった。二日目は「自然塗料について」の講義があり、続いて塗装作業の実技にはいった。自然塗料は粉末であったので水に溶かしてよくかき回し、更に材料の表を研磨することで、塗りやすく、きれいに仕上がるのである。出来上がった作品は各自家に持ち帰ったが、とても満足足りた気持ちになったようである。(記 野山泰一)



ハケはこう使います。 Do you understand?

10月26日、大阪教育大学付属平野小学校で催されました。当日は天候にも恵まれ、知的障害者活動の一助の催しで、人も多く、その一角に自由発想のものづくり子供教室と、体験学習の場を設けました。

親子連れを始め、小学生から中高生まで、所狭しのおおにぎわいで、もの作りに挑戦してもらいました。ものを作る機会の少ない社会の中にあつて、子供たちは様々な木の材料で、ノコギリ、カンナ、穴あけ、

**大和川園**  
「ふれあいまつり」

# 各地で木工教室開催

## 子供たちがもの作りを体験

**浪速区**  
福祉ふれあい広場

平成9年2月6日浪速区民センターで開催された「福祉ふれあい広場」に参加。幼稚園児たちの描いたお父さん、お母さんの絵が万国旗のように頭の上に翻り、その下で「ふくてつく」の木工教室は店開き。早速、絵を見に来たおばあちゃんとお孫さんが自動車作り挑戦。出来上がった可愛い自動車が出来栄えに、お母さんも来られて息子を褒めちぎるほほえましい風景もありました。リーダーに連れられた子供会のメンバーがどっと押し寄せ一時は超満員。クリ



準備万端いつでもどうぞ

まました。たとえ小さな物でも、作る楽しさを体験してもらい、それがその子の未来につながれば・・・と思っております。(記 三浦久子)

**池島まつり**

2月28日恒例の池島まつりに参加しました。専用の大工道具まで前準備され、机、コーナー掲示など抜かりのない準備ぶりでした。驚いたのは参加者の人数。住宅街の中にあるという立地条件もあると思いますが、池島公園が人の波で埋まり、はじまりからずっと人が出がたえないという感じでした。木工教室は三時ごろから店開きしましたが、子供たちが群がり、1時ごろには釘がない状況。もっぱらボンドだけが頼り。おまけに、ふくてつ



子供たちも一心不乱

くのおじさんを頼りにする子供が多いこと。ここを切れ、鉛筆で書いたりに切ってくれなどの要望多発。ここは子供が木工をす

(記 木村多加緒)



木の仕上げが塗装のポイント



11月23日OCATで行われた「作業所あつまれ」に参加しました。音楽ライブやフリーマーケットなどがあり、にぎやかな雰囲気でした。ふくてつくでは子供木工教室を開き、とても盛況で金槌を精一杯振り下ろしたり、ペトペトになりながらボンド付けをしたりと楽しそうでした。私は寸法が合わなかったり金槌で手をたたいたり、失敗ばかりであまりお役に立てなかったのですが、いろいろな方と接することもでき、とても楽しく過ごさせてもらいました。(記 岡沢泉)

**OCAT**  
「作業所あつまれ」



誰もが参加できるはがき絵の製作

去る2月2、3日第3回全国身体障害者スポーツ大会「ふれ愛びつく大阪・ふれ愛ひろば」(長居公園)に「ふくてつく」も子供木工教室を出店した。「ふれ愛ひろば」は、ライブコンサート、他、食いだおれ、バザーゾーン、体験ゾーンに多数の出店で賑わった。わが木工教室も朝から大盛況。時には、夢中になって製作している親子に教室を占領されてしまったよう。



おっ! 結構うまくいくもんだ

印象に残った生徒を幾人か紹介すると、初めてトンカチを持った1年生・自分で作ったクマさんに「この子の未来につながるのこぎりを夢中で教えるおばあさん」2日間皆勤の2年生の男の子・日曜大工講座卒業生の母娘・置物製作に夢中のお父さん・来年の予定を詳しく聞いて帰ったお母さん。

(記 三輪博孝)

# 高齢社会を身近に体験

# ほたる草

く者郎一  
つ任史  
て責杉浦  
く行表：6  
ふ発代：7



## 見「たえのある各コーナー」

### ATCエイジレスセンター

#### 1月定例学習会

平成10年1月10日  
ATCエイジレスセンター見学会

エイジレスセンターは大阪南港のアジア太平洋トレードセンター(ATC)ビル内のITM棟11階にあります。広さ5000㎡という広大なスペースに、高齢者や障害者のためのさまざまな設備や用具、サービスが紹介されています。お年寄りやその家族だけでなく若い人も高齢社会を身近な問題と考えられるようにいろいろなコーナーが用意されている提案スペースとなっています。

当日はボランティアの女性の詳しい説明を聞きながら、各コーナーを見学しました。エイジレス体験ゾーンでは2台の車いすに交代で乗り、住宅内をはじめ駅、銀行、コンビニなどにあるバリアとそれをなくす工夫を体験しました。設備メーカーや自動車メーカーの最新機器を操作したり、試乗したり、また、日ごろ見る機会のない海外の福祉製品に実際に触れることができ、とても勉強になりました。

その後、積水ハウス株式会社の協力で「家づくり館」も見学することができ、大変身のある見学会となりました。



車椅子でも使いやすいテーブル

同センターでは説明員の方が親切に説明してくれまます。また、毎週末さまざまなイベントも開催されています。昨年12月には地下鉄中央線とニュートラムがつながり、大変便利になりました。今回参加できなかった方も是非足を運んでみてください。また、同階のエイジレス工房には「ふくてつく」のメンバー十数名が事務所を構えられていますので、運が良ければお茶の一杯にでもありつけるかも???

(記・矢中史美)

## 高齢社会と日本の住環境



加茂みどり氏

### 2月定例学習会

平成10年2月7日(土)  
大阪ガス(株)商品開発部企画推進チーム  
NEXTプロジェクト  
加茂みどり氏

加茂氏は現在、商品開発部で「バリアフリーの生活」を概念に掲げ、リフォーム相談に携わる。職務の中で保つてきた事例等を交え説明されたが、時折、共に生活している高齢の父親の暮らしが話題に挙がり、温かい人柄が窺えた。終了後、ふくてつく会員より

今後の加茂氏の大阪ガスでの取り組みに期待する意見や質問が挙がり印象に残った。また、「誰にでも住みやすい家」を意図して作成された大阪ガス住宅設備のパネルプロジェクト「お達者」の人々への予測される生活の不便と対策を、語りかけるように述べわかりやすいく感じられた。

・生活水準の上昇や医療の発達によって、加齢による全体的な衰えはあっても健康状態は良好で、ほぼ常態生活を営むことができる高齢者の比率も上昇した。

・高齢に基づく諸機能の低下(視覚、聴覚、運動感覚、皮膚感覚)環境条件の変化に対する反応の速さや、順応性と抵抗力および回復力の減退

・平均寿命が延び、社会的に容認されていた住宅のため、外出しにくい。また、近隣との付き合いなども滞りがちな

・日本の住宅は、一人に割り当てられたスペースが狭い。

## 大まじめ夢多き研修会

### 初期診断ミーティング

#### 高島町「ほたる苑」にて

2月23日、2日久しぶりに訪れる「ふくてつく」のメンバー。思いおぼいにしたボランティア。縁は？あのカーテンレールは？あの壁は？あの木々や花たちは？

そして一番の関心はそこに生き生きと住んでいるであろう宇賀神女史その人であった。JR近江高島駅に迎えてくれたのは、運転ボランティアなる3名の紳士と

なり、環境を汚さない様々な取り組みの中から、太いきずなが生まれ人達だ。駅を降りた瞬間「一本参った」の感たん「一本参った」の感たん。人を生かす自分も生かすボランティア精神はこの地に早くも生れてきた。ほたる苑は広々と広がる田園の真ん中。200戸の思いおぼい家が並ぶその一角にある。

夏には蛍が舞う安曇川を左に、前方に琵琶湖、背に山々。出迎えてくれた彼女は、ますますスポーティでチャームな居場所が有る」と一同安堵の色。さっそく友達と作ってくれたというおにぎりや、庭で育てた大根入り粕汁のふるまいを受けた。ほたる苑は心もほんわかと暖かくなる。

引続きミーティング開始。出席者25名。1号7号議案へとエネルギーを注ぎ込んで議論が進む。5周年事業の準備、中でも初期診断のチェックポイントマニュアル化につ

いて集中的に議論がなされ、チェックシートの改定案が出来上がる。かくて大まじめで、夢多き研修会は、足がしびれるの連続だったので忘れていたのがあった。住環境にやさしい生き方を実践して、我々より一歩先をゆく「ほたる苑」。実践の発信基地となつてゆきたい、と熱っぽくかたる彼女は、青く広い空とともにまぶしく。

(記 新開加代子)

から①②③が全て整えば生活は便利になる。だから、最新設備を使いこなすことが出来るのか、生活の質はよくなるのだろうか?と疑問がわいた。「歳月の流れにより一人人をとりまく環境は変化する。また、世代によりニーズは異なる。だから同じ建物を建ててもその中で暮らさずには居られず、その事を配慮し住宅問題の課題に悩む事が、今後重要になると考える。実態調査などを行い生活様式を把握することはバリアフ

りのソフトの充実を図るための展開が広がるのでは...」と意見が挙がっていた。高度成長期以降生活事情はめまぐるしく変化した。世帯単が「家」から「個」へ変化し様々な生活スタイルが起りグローバルな情報が、発信され新しい文化も生まれた現在では、「便利」に依存した歪みが社会現象にあらわれている。いつ頃からか「何かを置き忘れ」日々過ごすようになった。しかし速く先祖から子孫に受け継がれた、日本人の文



大阪ガス住設リフォーム手帳「お達者」の人々」より

化「畳と襖」・土地の風習は体に染みついていて原点を省みたバリアフリーへの住宅展開を加茂氏はじめ建築部門に携わる人々に期待したい。(記 河辺久仁子)

# アイデアや技術の結集 元氣エネルギー21シニアフェスタ

関西電力主催のフェスタは1月25日(土)にOBP(大阪ビジネスパーク)ツインビルの1階ギャラリーで、「たくさんの人のエネルギーでシニアの、そしてみんなの明日をもっと元気にしたい」という願いで行われました。

全国の小学生からシニアの方々、福祉に関わる方々、さまざまなボランティアグループ、研究機関、学校、そして数多くの企業から、アイデアや技術、作品、熱意、力が持ちよられていました。「ふくてつく」もその中でシニア暮らしのクリニックのコーナーを受け持ち、体力測定や住まいづくりのアドバイスなどを実施しました。

展示物として階段や手すり(材質や太さや塗装など)風呂場での入浴補助器具、火災報知器や消火器などをパネル展示しました。高齢者疑似体験をされている方たちへ



体験装具をつけて入浴体験

使用の説明をしたり、階段昇降時、入浴時の補助器具使用時の身体に対する負担の違いなどを説明し、納得していただきました。来場された方の中で、日本各地でボランティア活動をされている方たち、団体見学が行われていた時のことですが、実際に手にふれられ、手すりの端が壁の方へ曲げられているのを見て、安全性と持ちやすさを十分考えた作りだと感心しておられ、説明している私も自信と嬉しさでいっぱいでした。

会員の方が取り付けた手すりにも細心の注意と思いやりが生かされていることを知り、今後ますます会の発展と活動が必要とされる方たちへ理解されることを痛切に感じます。(記 平松昭雄)

今回のイベントでは、一の方にも疑似体験を

A 浴室に、てすりとするのを設置してほしい。  
B 市営住宅4階で一人暮らし。糖尿病による手足のしびれのため、自力では立ち上がりにくく、床をはって移動するときもある。他県内にいる娘が週1回、ホームヘルパーが週2回訪問している。  
C 据え置き式浴槽で大人の足が上がりづらい(介護者の負担も大きい)ため、バスボード使用による入浴スタイルを前提に、手すりを設置する。すのこの低差が大きい(排水口を中心に最大約10cm)、アジャスター調整により足

D すのこについては、前もって新開氏が製作していたので、当日現地の仕事はやや多かったにもかかわらず、3人で分担して約5時間で完了した。解決策のとおり完成し、本人と家族の方に使い勝手を何度も確認してもらった。賃貸住宅のため家主の許可をもらうのに大分時間がかかったが、やっと完成し明日から喜んでもらえると思うとこちらまで何かしら

## 事例報告 待ち望んだ改造 Kさん80才(女性)

解決策に完成

場の安定性を確保する。なお初期診断により、トイレ(洋式)立ち上がりのための手すりを設置する。  
D すのこについては、前もって新開氏が製作していたので、当日現地の仕事はやや多かったにもかかわらず、3人で分担して約5時間で完了した。解決策のとおり完成し、本人と家族の方に使い勝手を何度も確認してもらった。賃貸住宅のため家主の許可をもらうのに大分時間がかかったが、やっと完成し明日から喜んでもらえると思うとこちらまで何かしら



納得いくまで確認を すのこは微調整が難しい

解決策として、膝の曲げ伸ばしが負担になるため、段差解消台と手すりの設置を検討した。上がりも壁に手すりを考えたが、地に置いているロッカーが壁をさえぎり、設置は困難。しかもロッカーは普段使っており、扉の開閉がある。すると、従来の長方形の段差解消台では机までの距離があり、アプロロチが難しい。そこで、台形型の段差解消台と逆U字型鉄パイプの特注で手すりを取り付けることにした。(手すりに関しては多くの会員のアイデアと鉄工所の協力があつた。)

D 初めて作業に行かせてもらいました。(和泉)

大工仕事なんてとても無理と思っていたこの私でも何とかお役に立てたようです。依頼者のご家族は物静かな方で、当日はあまりお話しもされず、こちらも黙々と作業を行ったにもかかわらず、トイレと浴室の取り作業に4時間程かかりました。手すり一つ取り付けるにしても、難しいものだなと改めて感じました。後の掃除も丁寧に行い充実した一日でした。  
(真国・新開・河元・和泉・木村・東洋金属(株)他)

定例会のお知らせ  
4月 日時: 4月4日(土) 午後1時30分  
場所: 大阪市立社会福祉センター3階305  
内容: 学習会「健康住宅について」  
講師: 藤田氏(ホームアイ)  
5月 日時: 5月9日(土) 午後1時30分  
5時

「ほたる草」の作成方法を変えました。今までは朝日新聞さんの機械を使わせてもらっていましたが、今回から市販の編集用ソフトを使用することにしました。使用方法にまだ慣れていないので、満足はいく出来ではありませんが、今後ますます「ほたる草」を充実させて行きたいと思っております。良いアイデア等受付中。未熟者ではありませんが、未永くお付き合下さいませ。(和泉)

## 事例報告 待ち望んだ改造 Yさん80才(男性)

解決策に完成

A 玄関の段差解消と、浴室とトイレに手すりを  
B 1軒家で家族と同居。左半身麻痺で、杖とてすりで自立歩行は可能。介護は奥さんが行なっているが、本人は背丈も高く大柄なため、負担も大きいと思われる。  
C 本ケースは玄関の段差解消に「ふくてつく」の英知が注がれた。段差は約30cmでスペースは広い。今まで降りるときは、一旦お尻を床に置いて(奥さんが後ろで支えているが、ドスンという表現があてはまる)から移動し、足を地を下ろしてから立ち上がる(この右側にあるガス管(縦)を持つ)。上がるときは、机(スチール製の事務机で床に置いてある)の天板を支えに一気に立ち上がっていた。



解決策として、膝の曲げ伸ばしが負担になるため、段差解消台と手すりの設置を検討した。上がりも壁に手すりを考えたが、地に置いているロッカーが壁をさえぎり、設置は困難。しかもロッカーは普段使っており、扉の開閉がある。すると、従来の長方形の段差解消台では机までの距離があり、アプロロチが難しい。そこで、台形型の段差解消台と逆U字型鉄パイプの特注で手すりを取り付けることにした。(手すりに関しては多くの会員のアイデアと鉄工所の協力があつた。)

D 初めて作業に行かせてもらいました。(和泉)

## 事務局だより

久々の便りです。事務局での検討事項で、既に改めてご報告する必要のない件は省き、主として昨年暮れの合宿ミーティングと1・2月の議事を集約して報告します。  
1 会員間の連絡システムの確立を望む声に呼応して、会員名簿の発行に踏み切ります。データーの整理にご協力下さい。FAXでの連絡も視野に入っています。  
2 当会5周年記念日が迫ってきました。三浦さんを委員長とする記念行事実行委員会が発足。イベント企画(野山・鴻上)製作(後藤・新開・木村・八木道)事務局(中北)の各委員。木工教室など、楽しく活動する企画を中心に検討が始まっています。  
3 ほたる草編集について従来から利用してきましたアサコムから自立して、当会独自にパソコンによる編集に移行しま

事務局だより  
事務局の活動や今後の予定についてのお知らせ。

事務局だより  
事務局の活動や今後の予定についてのお知らせ。

事務局だより  
事務局の活動や今後の予定についてのお知らせ。

事務局だより  
事務局の活動や今後の予定についてのお知らせ。



手すりの下地材の下穴あけ